

Nougyou Nounon いしのまきNN通信



上品山山頂より望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら農村振興班までご一報ください。今後ともよろしくお願ひします。

平成22年度採択に向かって頑張ってます！ ～鹿又地区、広瀨沼地区～



第19号の目次：

1. 現在の状況

石巻市（旧河南町）の鹿又地区、広瀨沼地区では、基盤整備事業推進委員会、土地利用調整委員会において事業化に向けた話し合いを重ねています。また、役員を中心に集落営農研修会への参加や先進地視察など、将来の地域農業を見据えた取り組みも行っています。

今秋には事業計画の詳細を決定した後、地元説明会を開催して施行同意（本同意）の徴集を行います。

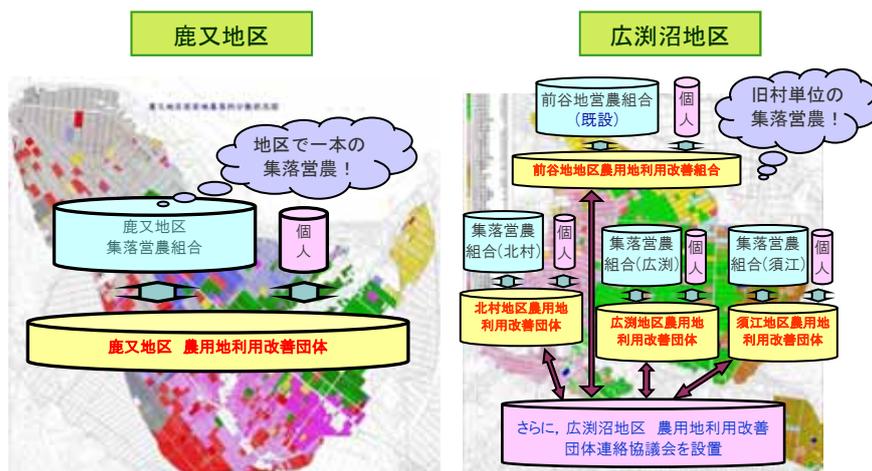
平成22年度採択に向かって頑張ってます！ ～鹿又地区、広瀨沼地区～	1
前谷地小学校における取り組み	2
ふるさと学習講座in二俣南を開催	3
ほ場整備実施地区の紹介 ～河南4期地区～	3
農業用水親子わくわく見学会の様子	4

2. 農用地利用改善団体設立に向けて

両地区とも受益面積が広大（600～700ha）なため、年最大で150haの工事が見込まれます。工事をする年は稲作を1作休まなければなりません。そこで、その間の所得を少しでも確保するための交換耕作や転作作付地の調整等を行う、農用地利用改善団体の設立に向けて取り組むことになりました。

この団体は、地縁的なまとまりのある農地権利者により構成されますが、土地利用調整委員会を中心に地元で話し合い、合意形成を図った上で、鹿又地区は1団体、広瀨沼地区は4団体（旧町単位）の設立を目指します。

これにより、土地利用調整の有効かつ効率的な推進と工事の円滑な進捗が期待されます。



前谷地小学校における取り組み ～田んぼの楽校協働推進体制整備支援事業～

石巻市立前谷地小学校（旧河南町）では、5年生18名が総合学習の時間を利用して4月から田んぼの学校を行っており、地元農家の只野正広さんをはじめ、関係機関が協力してその支援を行っています。



1. 播種作業 H21.4.23

はじめに只野さんから作業等の説明がありました。床土は根が張りやすいよう目の粗いものを使い肥料や病気を防ぐ薬が混ぜ込んであること、床土にはたっぷりと水を与えること、7～10日ほどして全体に生えそろうたのを確認したらビニールをはずして毎日水を与えることなど、とても分かりやすく説明していただき、子ども達も真剣に聞いていました。

その後、みんなで協力して6つの苗箱にササニシキをまきました。



播種作業



代かき体験

2. 代かき体験 H21.5.26

只野さんから代かきの意義と方法について説明を受けた後、子ども達は代かき前後の田んぼに素足で入り、その感触の違いを体験しました。はじめは、恐る恐る田んぼに入っていた子ども達も、慣れてくると歓声をあげていました。

「代かき前と後ではサラサラする感じが全然違う」「堅かった土が代かきによって細かくなったことが体験できた」等の感想が聞かれました。

3. 田植え作業 H21.5.27

田んぼの線ひきと手植えを行いました。

線ひきは2人1組で田植え定規を使い、マス状の線を描きました。なかなか真っ直ぐ引くことができず苦労していました。

その後、子ども達が育苗したササニシキと只野さんが育苗したひとめぼれを半分ずつ、泥だらけになりながら、ひと株ずついいいに植えました。



← 線ひき作業

田植え作業 →



用水ポンプ見学

4. 土地改良施設見学 H21.7.13

はじめに農業農村整備部職員による授業を行い、田んぼと水のつながり、揚水機場や用排水路の役割と重要性などを学びました。その後、旧北上川から学校田に農業用水がたどり着き、再び旧北上川へ排水されるまでの流れに沿って土地改良施設を見学しました。

河南矢本土改良区内の揚水機場集中管理センターや定川地区浄化センターなど、普段見ることができない施設内を見学でき、子ども達は驚きの声をあげていました。

5. 田んぼの生きもの調査 H21.7.15

前谷地ふるさと保全会（農地・水・環境保全向上対策）の協力をいただき、学校近くの土水路の生きものと水質調査を行いました。

中干し後まもなくだったため、ザリガニ、ドジョウ、マルタニシしか確認できませんでしたが、元気よく時間いっぱいまで調査してくれました。

終了後には、水路を汚さないように気をつけたいとの感想も聞かれ、生きものを通じた環境保全や農業・農村に対する関心を高めることができました。

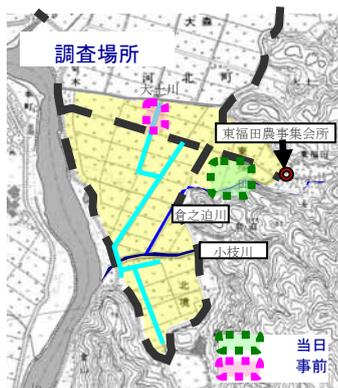


生きもの調査

ふるさと学習講座in二俣南を開催

7月28日（火）、平成24年度のほ場整備事業採択を目指す二俣南地区（石巻市）において「ふるさと学習講座」を開催しました。

本講座は、子どもを中心とした地域住民を対象に、農業への理解と関心を深めていただくことを目的に、平成12年度から行っている講座で、今回が21回目になります。



当日は、約60名（小学生以下29名を含む）が参加し、当部職員による田んぼの昔と今や生きもの等についての講義の後、会場近くの水田で生きもの及び水質調査を行いました。

調査の結果、今では絶滅が危惧されているメダカのほか、ドジョウ、カエル、ヤゴなど多数の生きものが確認されました。

講座終了後は、お母さん方の協力で、地元のお米を使った手作りおにぎりや漬けもののほか、米粉のピザなどが振る舞われ、感想などを話しながら交流を深めました。

確認された生きもの	
フナ類 ●	ヤゴ類 ● (川)
コイ類 ●	ヘビトンボ
メダカ ●	コオニヤンマ
タモロコ ●	ギンヤンマ
モツゴ ●	アキアカネ
ニゴイ ●	マルタニシ ●
ウキゴリ ●	アメリカザリガニ ●
タイリクバラタナゴ ●	アマガエル ●
ドジョウ ●	ニホンアカガエル ●



【ヘビトンボのヤゴ 右：成虫】
ヘビトンボは「環境指標生物」に指定されており、きれいな水にしか生息しないとされている。



生きもの調査



昼食

ほ場整備実施地区の紹介 ～河南4期地区～

概要

事業費	経営体育成基盤整備 (農地集積加速化型)
受益面積	104.8ha
事業費	994百万円
工期	平成19～24年
地区内担い手シェア	26.2%
H20末工事進捗率	13.1%

今年度初めて整備後のほ場で転作を行い、大豆とトウモロコシを作付けしました。

8/30（日）には「たてファーム・和（なごみ）」主催によるトウモロコシ収穫体験会が行われました。畑30アールのトウモロコシが、用意したビニール袋につめ放題で500円であったことから、400人以上が集まり大変盛況でした。この催しは、地域貢献と食育教育の一環で行われ、参加者からは「トウモロコシを収穫したのは初めてで良い経験となった」「農家の苦勞がわかった」などの声が聞かれました。来年度についても引き続き開催する方向で、今後検討していく予定です。



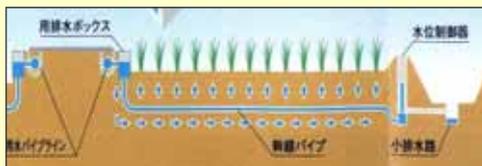
トウモロコシ収穫体験会の様子



8/30収穫体験会の場所

地下水水位制御システムの導入

地下水水位制御システムとは、用水パイプライン（自然圧）と暗渠排水の吸水管を接続し、従来の暗渠排水機能に加え、用水供給機能を併せたものです。このシステムにより、地下水水位と土壌水分をコントロールすることが可能となり、水田の畑利用で障害となっていた湿害や干ばつの問題をクリアできます。



位置図

農業用水親子わくわく見学会の様子

～水土里ネットみやぎ石巻支部 農業用水水源地域保全対策推進事業～

7月26日（日），石巻管内の小学生と保護者を対象とした，農業用水親子わくわく見学会が水土里ネットみやぎ石巻支部の主催で開催されました。

この事業は，農業に欠かせない水と森林の関わり，森林とダムや農業用施設が果たす役割や重要性について，子どもを含めた一般の方に広く知っていただくために企画され，今年初めて開催されました。

スケジュール

- ①施設見学
化女沼ダム
- ②記念植樹，森林のはたらき
古代の里自由広場公園
森林組合から説明
- ③施設見学
あいぼーと
(北上川学習交流館)

① 化女沼ダムの見学

北上川水系にある化女沼ダムの概要説明と資料館見学，ダム管理橋散策が行われました。

化女沼ダムは農業用水の確保だけでなく，洪水調整機能やラムサール条約湿地に登録された貴重な自然資源です。



化女沼ダム (右下：照夜姫像)



資料館2階展望室

② 記念植樹と森林（もり）のはたらきの説明

化女沼ダム西側にある自由広場公園に桜3本を植樹しました。強い日差しが照りつける中，参加者全員が交代でていねいに作業していただきました。

植樹後は東屋に移動し，林業振興部から森林のはたらき（水源）についてパネルを使い説明がありました。



森林のはたらきの説明



植樹後の記念写真

③ あいぼーと（北上川学習交流館）の見学

北上川水源から石巻まで水が流れる様子や，カスリン台風による洪水と河川改修等について，ボランティアガイドの説明を受けながら見学しました。北上川流域の巨大な航空写真や無人カメラによる洪水監視モニターに，子ども達はくぎづけでした。



ボランティアガイドの説明



北上川水系の巨大な航空写真

参加者の感想



保護者アンケートから

- ・水を無駄に使っているという話を聞き，小2の息子がトイレに向かいながら「水は大切に使わなきゃね」と言っていました。
- ・地球環境の原点は“水土里のともだち”から始まり，水・山・木を大切にそれらが十分に役割を果たすことにより住みよい環境になることを改めて実感しました。

(他にもたくさんいただいています。)

めだか のすめる
たんぼ づくりをめざして



宮城県東部地方振興事務所
農業農村整備部
(編集：農村振興班)

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内) 489

Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.jp

URL [http://www.pref.miyagi.jp/](http://www.pref.miyagi.jp/et-sgsin/nn/nn-top.htm)

[et-sgsin/nn/nn-top.htm](http://www.pref.miyagi.jp/et-sgsin/nn/nn-top.htm)